

ハンツウジャンプ!

総代会報告

総代会が開催された6月12日は、広島県にはまだコロナの警報が発令中。今年も規模を縮小し、通常総代会の出席総代27名。例年借りている佐東公民館が借りられず、共立病院の5階会議室に集まり、今年度新しく就任した理事と退任する理事を除く非常勤理事はリモートで出席した。

まずは、昨年度急死された三名の方に黙とうをささげ、その後専務より駆け足で議案の説明があった。



質疑応答の時間では、可部地区の津田診療所についての質問があった。なぜコロナワクチンが津田診療所で打てないのか？だった。

回答は、当所、診療所が狭くワクチン接種のための感染対策が十分に取れない事、所長の体調不良などの説明があった。今後は津田診療所のみではなく、他の診療所でもワクチン接種の受け入れが出来ていなかった組合員さんに対して、共立病院での対応も視野にいれ、広島医療生協全体で対応を検討するなど、何とか工面して打てるようにするとの事。

今年度は理事1名、監事1名が退任。長年広島医療生協を支えられた両名が退任のあいさつをされた。「私は志願した少年兵だった。帰国して国が嘘つきだと知った。医療生協の事を聞き、以来50年手伝わせてもらった。これからも地域へできる事があれば、やっていく」と監事からの力強い言葉が印象に残った。(K. U)

ご存知ですか？

三次市には「ふれあい収集」というサービスがあるのをご存知でしょうか？

家庭ごみをごみステーションに持ち出すことが困難な高齢者または障がい者の世帯の在宅生活を支援するため、戸別に訪問して家庭ごみを収集してくれます。

三次市の分別に合わせてきちんと分別されていれば、毎週1回、自宅へ収集に来てもらえ、安否確認もされるので、緊急連絡先も登録し、万が一の際にも連絡してもらえらるサービスです。

ごみの分別が難しい場合は、分別は訪問ヘルパーさんをお願いし、収集はふれあい収集を利用するなどの計画をされれば、不衛生な環境を改善する事も可能になります。まずは、包括支援センターや担当のケアマネージャーさんに相談してみてください。

最近では在宅で生活することが増えてきました。

気持ちよく生活するために、身



えのかわ訪問記

緊急事態宣言が解除となりましたが、まだまだコロナウイルスとの闘いが続きそうな日々を過ごしています。

しかし、コロナウイルス流行はすべて悪いことばかりではなく、新しくできることも見つける事ができています。三次にいてもオンライン会議で全国で行われる研修を受けることが出来るようになりました。移動の費用や時間がかからず(無料の研修もあります)、新しい情報を学習できることはありがたい限りです。

先日、『口から食べるを継続する為に』という研修を受けました。

「食べる事を続けるために」は家族や専門家もワンチームとなって情報と感情を共有する必要があります。

「人は口から食べるには、口から食べることをやめてはいけません。食べ続ける。しゃべり続ける。歌い続ける事が大切。」「人は案外アイスだけでも生きていける。」これは講師の先生のお母様の事例でした。

家族としての視点、専門家としての視点があり、とても参考になりました。

栄養のバランスが…とか、無理してでもご飯は食べないと…などと、とらえず最期まで楽しく食べていく事が大事などだと思いました。(古本)

在宅介護、療養のご相談は、えのかわへ

訪問看護ステーション えのかわ

TEL 0824-64-8444

居宅介護支援事業所 えのかわ

TEL 0824-53-1888



～平和活動準備中～

8月6日が来月に迫ってきました。

県北でもコロナ禍の中でもできることを計画しています。

昨年同様に、ウイルス感染に気を付けながら、下記の予定で平和行進を準備しています。

詳細は7月6日の会議にて決定しますので、ご興味のある方は、広島医療生協県北事務所までご連絡下さい。

国民平和行進予定日：7月31日(土)

※昨年の実績は、三次市役所を出発し午前中の間に川地コミュニティセンターまで行進。

川地コミュニティセンターで交流会を行って行進団体は解散し、安芸高田市までは車で宣伝行動を行い



ながら、行進をつなぎました。